諸統計より

人口統計	
人口	25,004人
男	12,148人
女	12,856人
出生	33件
死亡	28件
戸数	4,302戸

壬生町政だより

35年 8 月号

No. 20
毎月24日発行
発行所　栃木県壬生町役場
印刷所　新生社

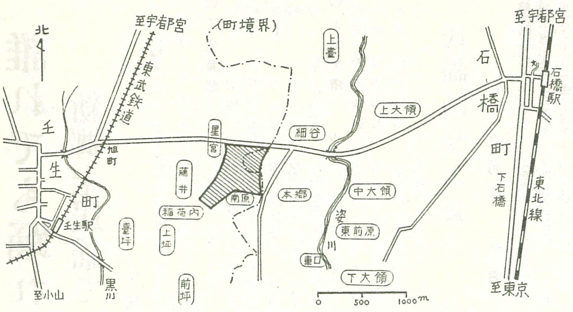
日魯漁業の誘置きまる

綜合畜産加工場と
養鶏十一万羽、養豚二千頭

壬生町ならびに本町周辺の発展策としては、工場誘置に重点をおくべきだという信念のもとに進んできた小田垣町長は、この程日魯漁業株式会社（資本金三十五億円）の工場兼牧場の誘置に成功しました。誘置の決定をみた位置は壬生町大字藤井星宮、石橋町大字橋本を含む山林約七万四千四百坪で養鶏十一万五千羽、養豚二千二百頭、綜合畜産加工場の建設と飼料畑などで、工事着手から三カ年で七億円程度の設備投資をする計画を会社側では明らかにしております。

今年二月から日魯漁業は群馬と栃木両県に工場兼牧場の敷地を物色、早速群馬県の藤岡市が名乗りをあげましたが耕地のためダメ。

栃木県ではかねがね工場適地として注目されていた壬生町星宮地区、宇都宮市鐺山地区、鹿沼市北犬飼地区が候補地にあがり両市の積極的誘致運動をしりぞけ、本町が県商工課の協力をえての誘致運動が功を収め、七月十六日に正式決定をみたものです。



斜線が日魯漁業の工場敷地

工場敷地

決定した敷地予定地は山林七万四千四百坪で、所有者が壬生と石橋町にまたがっているので石橋町役場にも協力を求めるとともに、本町議会議員全員で日魯漁業工場誘致委員会（会長は町長）を設置して積極的に乗り出しました。

本町の所有者との懇談会では工場誘置の真意を了解し、最初の会合でまとまったもので、その協力的な態度と郷土の発展を願う心に頭が下った…と町長は述懐しております。

石橋地区の所有者も町境界を越えての協力の結果、短時日のうちに買収が決定しました。

工場兼牧場の計画

明らかにされた計画内容では
❶採卵鶏十万羽飼育
❷採肉鶏月一万羽仕立
❸種鶏五千羽飼育
❹肥育豚二千頭飼育
❺種豚二百頭飼育
❻綜合畜産加工場の設置
畜肉冷凍、畜肉くん製、ハムソーセージ、マヨネーズの製造

また建設される設備では

第一年目 は養鶏関係で一七六棟で五、三六一坪の建物。

第二年目 は養鶏養豚関係で七一棟で四、一三〇坪の建物。

第三年目 は畜産加工工場九棟八〇〇坪の建物。

これに要する資金は約七億円になる模様です。

畜産農家との関係 で会社側は次のような意向を明らかにしております。

◇鶏卵、鶏、豚などを畜産農家から買入れる場合は、すべて農協を通じて、東京相場で行いたい。

◇希望者には豚や飼料などを提供する。しかしその買入れ等の場合の相場は、自力で飼育した農家の買入れと同様にする。

◇会社には飼育専門の技術者が居るので、町や農協の了解のもとに指導に当りたい。地元の畜産農家の発展を願うことが、会社側もともに生きることですと語っております。

日魯漁業…この会社の創立は大正三年三月で、資本金は三十五億円、社長は北洋漁業の開拓者平塚常次郎氏。事業は漁撈部門と各種罐詰、素干、塩干、冷凍事業などで、今度壬生町に出来る畜産関係部門を加えて総合食品会社へと歩を進めるものとみられます。

学校統合なる

近代的な新校舎を
統合補助金で一苦労

町村合併後の町造りの基本として、学校統合が大きく浮かびあがり、本町教育界だけでなく、全国的に大きな関心事となりました。

本町では五月二十七日の町議会で、学校統合が満場一致で可決されるに及んで急速に進み、壬生北小学校と南犬飼小学校国谷分校が統合して壬生東小学校に南犬飼小学校と同校北分校との統合で壬生北小学校が誕生しました。

今年度二校の校舎新築は困難なので、とりあえず壬生北小学校については敷地四千五百坪の整備だけにとどめ、次年度に繰越され、壬生東小学校は秋作とり入れ後に建設が本決りになりました。

校舎では…まず今秋建設を予定される壬生東小学校の校舎は、十一学級の編成でその新校舎。音楽、理科、図書の三特別教室と管理室その他附属物が近代的に設計される予定です。校舎新築などで少なくても一千万円を超すようになる模様です。

国庫補助では…昭和三十五年度が学校統合補助の最終年度であるため、、統合の補助申請が激増し、加えて本町の場合は統合の決定が他市町村よりおくれたため、非常に難航しました。小田垣町長が再三にわたり、直接文部省と交渉し、補助を受けることに成功して町費の節減ができました。

敷地では…壬生東小学校は大字国谷落合原に約三千余坪を、壬生北小学校は大字北小林上原に決まりました。種々経過もありましたが、地元民の良識と協力によって前記の敷地が決まったわけです。

統合による教育効果…今度の統合により、教育委員会の希望していた❶適正規模の学校❷学校の管理、経営、設備の充実による児童の教育効果の向上❸老朽校舎の改築、すしずめ教室の解消と経常費の節減…など一石二鳥にもなる訳です。

また、多年の不便をしのんで危険校舎や設備不足に悩む子供たちが、どれだけ喜び幸せになれるか、教育の機会均等という立場からも思い合わせると、学校統合が高く評価されております。

九月のメモ

白菜の栽培

最近換金作物としての果樹やそ菜の栽培が盛んになり、各地で青果物の出荷組合が結成されています。

特に黒川東部の畑作地帯では干ぴょう、ホーキモロコシ、煙草などのあと作に白菜の栽培が適しており、陸稲の早播きや早期栽培なども可能です。

白菜の需要は年々増加しており、産地の東京近況では工場の建設や住宅地に変り、今後増々この傾向が強くなるものと思われます。

本町でも青果物出荷組合などが中心になり、計画的に作付けすれば相当有利に販売できるものと思われます。

品種では早どり用として肥沃な畑で新生、長岡交配六〇日などが適し、病気の少いところでは、改良野崎二号が立派に出来ます。普通どりでは品質の点で京都三号、松島交配五号などがすぐれ、病気の多い圃場では、下山千才松島交配七号などが病気に強く安全です。おそどりでは千才が作られています。

播種適期は品種により多少異なりますがこのへんでは八月二十日頃が標準です。早播きすると軟腐病、バイラス病の発生が多く失敗し易い。反対に九月一日以降の遅播きではなかなか結球しません。八月二十日頃を中心に遅くとも八月二十八日頃までに播種して下さい。

苗の作り方は夏播きかんらんやはなやさいとまったく同じですから先月号を見て下さい。種子量は十アール（一反歩）〇・六dl（三勺）あれば十分です。

肥料は多い方がよい白菜がとれますが、標準としては稲の三ー四倍位で二ー三回に分けて施します。畦巾六〇ー七五CM（二ー二・五尺）株間四五ー六〇CM（一・五ー二尺）位に定植します。

生育初期にシンクイアブラムシ、サレハムシに注意して、バイラス病、軟腐病などの発生の主因となってきますから、早期にマラソン一〇〇〇倍液、エンドリン八〇〇倍液を散布して駆除します。軟腐病は早播きをさけ、排水を良くし、株元に銅水銀剤四〇〇倍液を注入すると効果があります。

農業委員会長に
若林茂一氏

七月二十九日第一回農業委員会で左のとおり役員が決まりました。

農業委員会役員
◎会長　若林　茂一氏
同職務代理　篠原善一郎氏
◎農地部会長　渡辺　勇氏
同職務代理　粕尾　万作氏
◎農政部会長　丸山　吉只氏
同職務代理　渡辺芳之助氏

農閑期利用のアルバイトを

農閑期を利用して工場各種労務土木建築、観光地、ミカン労務などで働けたら、家計には大きなプラスです。申込みは役場か栃木職安におねがいいたします

◎年令…満十八ー三十才（女子の場合は二十五才位）
◎給与…男子では八、〇〇〇ー九五〇〇円、女子では六、五〇〇ー七、〇〇〇円

このほか特別手当があります。
◎筋肉労働…十八才ー四十才で日給三五〇ー四〇〇円程度
このほか県内外の事業所から多数求人がありますから、ぜひ御利用下さい。

お知らせ

農業委員の指名推せん者

町議会の推せん者
森田一氏、三上春信氏、箱森米三郎氏

農協の推せん者
若林茂一氏、大栗雪氏、石江正巳氏、早乙女林太郎氏、高木信一氏

共済組合の推せん者
中村義市氏

訓練生の募集
栃木総合職業訓練所

栃木総合職業訓練所は職業訓練法の規定によって、専門技術を訓練するために、近代的な施設をもった栃木県随一の総合職業訓練センターとして、昭和三十二年から開設されております

現在は木工、機械、溶接、電気機器修理、自動車整備の五科目ですが、今年からラジオ、テレビ科と機械製図科の二職種が増設されました。

その募集要領は
❶ラジオ、テレビ科は募集人員十五名、訓練期間一カ年、入所資格は義務教育終了以上
❷機械製図科は人員が十五名訓練期間一カ年、入所資格は高校卒以上

募集期間は八月二十五日から九月二十五日まで

入所申込方法は願書と履歴書、健康診断書を提出します。ただし機械製図科は高校卒業証明書を添付して直接申し込む。

選考方法は常識試験と面接

選考期日と場所は九月二十六日（月）午前九時、宇都宮市若草町八五五ー栃木総合職業訓練所（市内関東バス戸祭終点下車が便利です）

スポーツテストの結果

スポーツテストは七月三十一日に壬生中央公民館で開かれ、各種目（男子＝百㍍、千五百㍍ソフトボール投げ、走巾とび、けん垂。女子＝五十㍍、ソフトボール投げ、走巾とび）に次の通り級が決まりました。

二級
菊地勲、橋本幸男

三級
橋本実、山名延男、荒川正、大房四郎、金小路キミ、大垣征子

なお来年は、春か秋のよい時期に行なう予定です。

社会を明るくする
運動入選標語

社会を明るくする県実施委員会（委員長横川知事）では、重要な行事として「青少年自身が青少年不良化防止対策について考え、その考えを標語を通じて発表することによってこの運動に参加すること」を目的として県内各中学生から応募してもらいました。

参加四十八校で四百五十点のうち、本町中学校の入選標語は

伸ばそう愛の手伸ばすな悪の芽
壬生中三年　渡辺富美子さん

準入選
温かい手と目が防ぐ悪のみち
犬飼中二年　伊藤利秋君

佳作
わき道へそらすなみんなの愛情で
壬生中一年　粂谷邦子さん

正直に話せる家に悪はなし
稲中二年　古沢彦治君

季節の声

◇…八月中の大きなニュースが二つ。一つは日魯漁業株式会社の工場兼牧場誘置に成功し、用地買収が円満にきまったこと。もう一つは私たちの壬生音頭と壬生小唄ができ、八月七日に発表会を盛大に行なったこと

◇…日魯漁業の誘置成功は栃木県が工場誘置運動を始めて、最初の大企業で相当の力の入れようです。県内各地に企業がきておりますがいずれも中小企業といったところ。

◇…八月号の発行が少々おくれたことをおわびいたします。

九月の行事と歴史

一日　関東大震災記念日。東北本線（東京ー青森）開通（明24）
三日　旧盆（旧七・一三ー七・一六）
七日　泉鏡花死す（昭14）尾崎紅葉門下「婦系図」
八日　対日平和条約・日米安全保障条約調印（昭26）
十二日　マラトンの戦（西暦前四〇）第二回ペルシヤ戦争マラソン競技がこの戦いに由来する
十四日　ダンテ死す（一三二一）イタリヤ人「神曲」
十五日　関ガ原の戦い（慶長5・一六〇〇）支倉常長欧州へ（慶長18・一六一三）
十七日　黄海大海戦（日清戦争、明27）正岡子規生まれる　若山牧水死す（昭3）歌人
十八日　満洲事変はじまる（昭6）
二十日　秋彼岸入り　サラサーテ死す（一九〇八）スペインの作曲家、バイオリニスト国民楽派の巨匠
二十三日　秋分の日・頼三陽死す（一八三二）安芸の人で歴史家、詩人「日本外史」
二十六日　小泉八雲死す（明37・一九〇四）英人で文学者、日本を海外に紹介日本に帰化

誰れでも踊れる

新郷土民謡できる

壬生音頭・小唄

かねてから大人も子供も踊れる健全な郷土民謡が望まれておりましたが、新作壬生音頭と壬生小唄の発表会が、八月七日壬生中央公民館で盛大に催されました。

○壬生音頭
作詞　粂川純江
作曲　門井梅男
振付　藤間錦華
唄　いろは
地方　栃木芸伎組合

○壬生小唄
作詞　鈴木茂彌
作曲　門井梅男
振付　藤間錦華
唄　いろは
地方　栃木芸伎組合

発表会には地方（ぢかた）栃木芸伎組合の三味線、小太鼓、大太鼓、唄いろはさんによる生の演奏、藤間さんほか七十名による壬生音頭の踊りが披露されました。終って練習会には町長、町会議員、社教委員、商工会、婦人会、青年団、生活改善委員、役場職員、先生が輪になって熱心に練習をしました。

◎壬生音頭のレコード

壬生音頭と小唄のレコード吹込みが終りますから、申込み先は商工会、婦人会、青年団、体協、白梅会へ。値段は一枚三百円程度

残暑がつづきそう　台風シーズンに入る

九月中ばまでは残暑が続きそうです。下旬にかけて秋雨が多くすから、子供さんなど寝冷えしないように。
雨量は多目の見込みで台風による大雨には、ぜひご注意下さい。

民謡踊り大会

九月八・九日

日鶴漁業工場誘致、壬生町商工会発足十周年記念、新郷土民謡の誕生などを祝って踊り大会を催します。

九月八日、九日の両日
場所は壬生小学校々庭
時間は未定

◎各町内の壬生音頭練習会

作曲者門井さんと振付の藤間さんを先生にして練習会を開きますからぜひお出かけ下さい。練習の申込みは公民館新井主事へ

◎踊り浴衣のあっせん

柄は町章のマーク入りの総模様で、婦人会と白梅会でお世話しておりますから、早目に申込み下さい。値段は浴衣、手拭約八百円程度。

台風に備えて 今年も恐ろしい台風シーズンがやってきました。今から各ご家庭では心の準備と備えをいたしましょう。

❶ラジオや新聞で台風情報に注意する
❷平均風速二十米以上になると雨戸やガラスが吹きとぶこともあるので、風圧に耐えるようにカンヌキなどの補強をする。
❸停電に備えて、懐中電灯の用意をする。

壬生音頭

作詞　粂川純江
作曲　門井梅男
振付　藤間錦華

壬生はなー
壬生はよいとこ　御城下町よ
ハ　ソレソレ
畑にゃ干瓢の　畑にゃ干瓢の
花が咲く

鮎はなー
鮎は黒川　そよ風吹けば
ハ　ソレソレ
女浪　男浪が　女浪　男浪が
綾を織る

一度なー
一度来て見な　お天王様にゃ
ハ　ソレソレ
粋な若衆の　粋な若衆の
伊達姿

昔なー
昔名残の　武者行列は
ハ　ソレソレ
誰も見ときな　誰も見ときな
やってきな

やぐらなー
やぐら太鼓に
浮かれておどりや
ハ　ソレソレ
お月様さえ　お月様さえ
出てのぞく

壬生小唄

作詞　鈴木茂彌
作曲　門井梅男
振付　藤間錦華

エエー
花が咲きます　黒川堤
赤い絵日傘くるりと廻わしや
唄がながれる　唄がながれる
壬生小唄

エエー
虫が啼きます　稲葉の里に
子松けなげに　親抱き松の
むかし語りに　むかし語りに
むせび泣き

エエー
華が散ります　戌辰の役に
明治日本の　よあけを告げて
ここは坂下　ここは坂下
古戦場

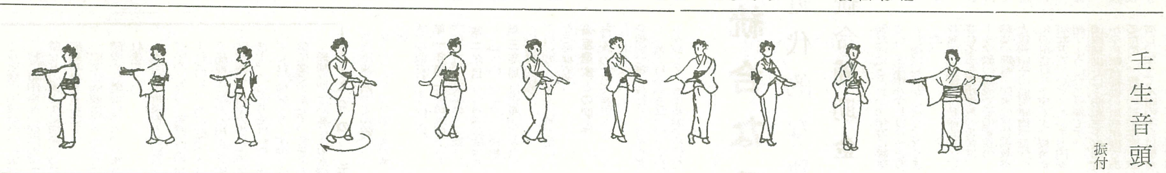
エエー
意気がもえます　揃いの浴衣
どんとはやせや　祭の太鼓
勇む輿は　勇む輿は
夏祭り

エエー
霧が晴れます夜明けの壬生に
紅のたすきに　姉さんかぶり
干瓢乾す娘の　干瓢乾す娘の
片笑くぼ

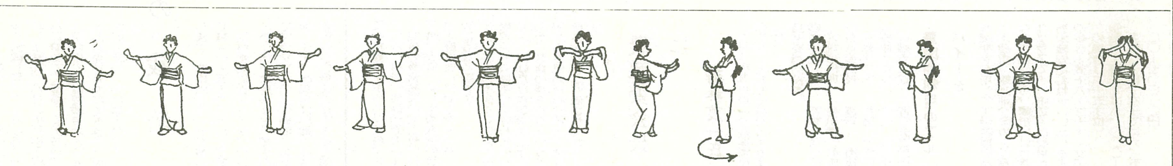
エエー
雲が行きます　野菊が薫る
清い流れに　姿よく育つ
鮎は黒川　鮎は黒川
屋形船

壬生音頭振付

振付　藤間錦華



1 胸の前より両手をひらき　右足を出す
2 右足を引き　そろえ　手拍子　チヨン
3 右足を出し　左斜前に両手をそろえ　出す
4 左足前進　両手を左下へ流す
5 3に同じ　右足前進
6 左足前進　3の反対動作
7 5の反対動作
8 6の反対動作をし足はそのまま右へ半回り進行方向の反対向きになる
9 足はそのまま　右手を出す（手のひら上向き）
10 左手を出す
11 左足をそろえ乍ら手を返しそろえる



12 顔の前に手を合せ山型を作る
13 右足を横に出して手をひらく
14 左足をそろえ　手拍手　チヨン
15 顔の前に山型を作り左足横に出し乍ら手をひらく
16 右足をそろえ手拍手チヨンと打ち　右へ半回り進行方向へ向直る
17 足右前にて　両手をそろえて出す（手のひら上向き）
18 手を回し　胸にくむこぶしを作る
19 右足を引きそろえ手をひらく
20 右足前進
21 左足をそろえつま先で　スタップ
22 左足前進
23 右足そろえてつま先で　スタップ

壬生史帖

資料②にひきつつき、さらにこの項で壬生部公（みぶべのきみ）と壬生氏の系図、壬生築城当時の状勢について言及しております。（編集部）

資料（三）

今、壬生と境を接する様になった宇都宮市の中に、雀ノ宮がある。そこが、下野の雀部の居住地で、雀部公を始め、その部属である雀部の人々が崇敬したお宮が雀宮（さざきのみや）であったのが、戦乱の世が続いた時、昔の事が忘れられたために「すずめのみや」と呼ばれる様になったのである。

壬生部公の墓とみられる愛宕山古墳

壬生附近にある大きな古墳は世々の壬生部公の墓であり、彌生（やよい）土器や埴師（はじ）土器等の破片の散在している所は、壬生部の人々の生活していた所なのである。又、雀宮附近にも、雀部公の墓と思われる古墳が幾つもあり、彌生土器や埴師土器の破片が散在している所即ち雀部の人々の生活していた跡が今でもたづねられる。

日本中には「壬生」と呼ばれる地が、京都の壬生、四国の壬生川という様に幾つもある。尚、式部（にぶ）、市部（いちぶ）、乳部（ちぶ）、秩部（ちちぶ）という地名が、「壬生」と同類の地名なのである。

下野の壬生氏は、豊城入彦命の後裔で、云わば崇神天皇から出たと見なければならず、京都の壬生氏は、「壬生系図」に書かれた様に垂仁天皇の後胤、小槻宿禰今雄公苗裔ということになる。それを「宇都宮興廃記」に壬生上総介義雄の先祖を崇神天皇の皇子豊城入彦命とあるのは、京都の壬生官務の庶流が下野に来たのを、下野の壬生氏、即ち慈覚大師等の壬生氏と誤った事に起因するのである。

又、「宇都宮郷土史」の、横田氏系図の中に、九代泰業の弟で壬生三郎朝業という人がある。若し其の子孫があるとすれば、横田氏は宇都宮氏から分れ宇都宮氏は藤原氏から分れたのであるから、藤原氏の子孫の壬生氏というのもあるわけになる。

更に、壬生彦五郎の壬生築城について考えてみたい。平家滅亡（西暦一一八三年）の際、平重盛の姨母、妙雲尼が、家臣筑後守貞能にともなわれて宇都宮（三代）朝綱をたよって来たのであるが、それと同様、彦五郎も、公卿である壬生官務の庶流として、云わば小槻彦五郎として、関東の武士となる目的で、宇都宮（十六代）正綱を頼って来たのである。（宇都宮興廃記）

恐らくは、宇都宮氏の領地の一小部分であった壬生の地を、彦五郎の為に分与して、同じ壬生というゆかりの地があるから其所に築城するがよいと指図されたろうと想像する事が出来る。その昔、筑後守貞能や妙雲尼が、朝綱の指図を受けて結局は塩原に落付いたのと同様の事であったろうと思われるのである。若しも彦五郎が、かりに、飯塚の地を分与してもらって、そこに築城したとすれば、飯塚彦五郎胤業と称したかも知れなかったろう。（恩水）